

～ 和歌山県立図書館「がん」関係図書の紹介 ～

「がん」について、こんな時、こんな本はいかがですか？

■ケース1：「がん」全般についての知識を得たい。

①『最新「がん」の医学百科』（主婦と生活社・2010）

告知の意義から病院・治療法の選択、退院後の生活、緩和ケアまで、患者さんとそのご家族が知りたい内容が網羅されています。部位別「がん」の特徴やホスピスについても説明されています。

※向山雄人（むかいやま たけと）監修

（財）癌研究会有明病院緩和ケア科部長

資料番号：321842585

②『がん治療の前と後』（竹中文良（ふみよし）監修・法研・2010）

監修の竹中文良氏は和歌山県出身です。（2010年肝臓がんで死去）

がん療養生活において、入院前・入院中・退院後の注意点を、順次、説明しています。医療費負担を軽減する制度や保険についても掲載されています。

資料番号：321846081

③『がん治療を受ける前に知っておきたい55のこと』

（土屋了介・奥仲哲弥著・エクスナレッジ・2010）

患者さんが病院や治療方法を選ぶ上で、参考になる知識を、医師の本音を交えて分かりやすく解説しています。

※土屋了介：（財）癌研究会有明病院顧問

※奥仲哲弥：山王病院副院長、呼吸器センター長

資料番号：321836181

■ケース2：「がん」の治療方法について知りたい。

①『インフォームドコンセントのための図解シリーズ』

（医療ジャーナル社）

一般向けに、各種がん別に分冊し、治療内容が理解できるシリーズ本です。

- ②『がんを薬で治す 2013年版』（畠清彦責任編集・朝日新聞出版・2012）
がん薬物治療の最新情報から部位別治療、副作用対策、ライフスタイルまで、
毎年増える新薬の情報も得られる内容になっています。

※畠清彦（はたけ・きよひこ）：（財）癌研究会有明病院血液腫瘍科部長
資料番号：321875890

- ③『がんの放射線治療がよくわかる本』（唐澤克之著・主婦と生活社・2009）
がん放射線治療の基礎知識から、効果、副作用の対処法などを分かりやすく
解説しています。

※唐澤克之：東京都立駒込病院放射線科部長
資料番号：321846917

- ④『抗がん剤のすべてがわかる本』

（矢沢サイエンスオフィス編・学研パブリッシング・2013）

抗がん剤（治療）に関する情報を網羅的に解説しています。

「分子標的薬」や「がん幹細胞」などの最新情報もあり、詳細な抗がん剤の
全リストは調べやすく、用語索引も充実、抗がん剤（治療）の全知識を得ること
ができる一般書です。

資料番号：321905549

- ⑤『イラストでよくわかる がん治療とサポーターケア』

（田口哲也 監修・じほう・2012）

薬物療法について、患者さんに情報提供を行う医療従事者用の図書ですが、
イラストが多く、一般的にも理解できる内容になっています。

※田口哲也：京都府立医科大学附属病院内分泌・乳腺外科教授
資料番号：321846149

■ケース3：「がん」患者さんの食事など、在宅でのケアについて 調べたい。

- ①『抗がん剤・放射線治療と食事のくふう』

（静岡県立静岡がんセンター・日本大学短期大学部食物栄養学科編・
山口健監修 2007）

静岡県立静岡がんセンターの編集で、患者さんの症状に適した食事や調理
方法を分かりやすく紹介しています。

資料番号：321029274

- ②『むくみで困ったときに読む本』（小川佳宏著・保健同人社 2010）
リンパ浮腫の治療と、「むくみ」の原因・診断・治療などを解説して、自宅でもできるケアも紹介しています。

※小川佳宏：リムズ徳島クリニック院長

資料番号：321592982

■ケース4：「がん」の治療費用・保障制度について調べたい。

- ①『がんとお金の本』（黒田尚子著・岩瀬拓土監修・ビーケイシー 2011）
著者の黒田尚子さんが、がん患者となった体験をもとに、ファイナンシャル・プランナーとしての視点で、「がんとお金」について、詳細に解説しています。

※黒田尚子：1級ファイナンシャル・プランナー技能士

：NPO法人キャンサーネットジャパン認定

乳がん体験者コーディネーター資格取得

資料番号：321840266

- ②『がんと一緒に働こう！』（CSRプロジェクト編・合同出版・2011）
がんになっても「働き続ける」ために必要な知識を、分かりやすく説明しています。働く権利・企業側の考え方・職場でのコミュニケーション・保険や社会保障制度・ワーキンググッズ等を紹介し、患者側の立場で解説しています。

※CSRプロジェクト代表 桜井なおみ

NPO法人HOPEプロジェクト理事長

※CSR（Cancer Survivors Recruiting Project）

がん経験者たちの就労問題を考えるプロジェクト。

東京大学医療政策人材養成講座4期生桜井班が中心となった

調査研究「がんと罹患就労」をもとに政策提言や課題解決に横断的に取り組んでいる。

資料番号：321635757

■ケース5：「がん」の予防について知りたい。

- ①『がんの予防』（国立がん研究センター監修・小学館 2010）
「国立がん研究センターのがんの本」というシリーズの一冊で、日常生活における、注意事項や部位別の予防について説明しています。

資料番号：321838559

②『がん健診のすすめ』（城戸哲夫著・現代書林・2011）

「がん健診」への正しい理解と重要性及びメリットを強く訴えている本で、「がん健診」にまつわる内容を網羅して説明しています。早期発見・早期治療の重要性・各種健診内容・部位別の健診内容を解説しています。

※城戸哲夫：医療法人聖授会OCAT 予防医療センター所長

資料番号：321843674

■ケース6：「がん」闘病記などとはどんな本があるの？

①『生きていたい』（岡林卓也著・KKロングセラーズ 2013）

著者の岡林卓也氏は和歌山市に在住です。

岡林さんは、2011年に、10万人に1人といわれる難病「前縦隔原発胚細胞性腫瘍非セミノーマ」と診断され、翌年には細胞検査で、非常に珍しいガンである「肉腫」と診断されました。

今を精一杯生きることや家族への感謝の気持ちを余すことなく言葉にして綴られています。

資料番号：321910762・326730272

②『金色の笑顔』（北林雨夏著・PHP・2013）

第1回「ありがとう大賞」大賞受賞作で、当館がんコーナーには珍しい小説です。

最期まで自分らしく日常を生きる「緩和医療」の在り方を、自分や家族に置き換えて考えさせられるストーリーです。

資料番号：321907388

※上記の本以外にも、がんコーナーには、各種「がん」別に区分して、闘病記等の本もたくさん揃えています。ぜひ、ご活用ください。

※県立図書館の本は、お住まいの公共図書館・公民館図書室を通じて借りていただけます。図書館・公民館にお問い合わせください。

県内図書館等一覧：<https://www.lib.wakayama-ced.jp/other/library.html>